学校番号	301

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等	ペン習字教本（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写、書道Ⅰ、書道Ⅱの授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6	**漢字の**書 鑑賞と臨書 篆書・隷書による学習 楷書による学習 創作	・書道史的位置と特徴の理解 ・用筆法、運筆法、結構法の学習 創作	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:書への理解を深め、多様性を理解し手興味を持って取り組んでいるか。臨書の意義を理解し積極的に取り組もうとしている。 b:用筆や運筆法を理解し、そのよさや美しさを感じ取り表現を工夫している。 c:毛筆の特性や執筆法の多様性を身に付け表現している。 d:作品について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6 7 8 9	**漢字の書** 行書・草書による学習 臨書 創作 **仮名の書** 臨書 創作	・行書・草の用筆・運筆・結構法 ・字形の均衡のとり方、全体のまとめかたなどく理解して書 ・　既習の理法、技能を活用した創作作品の制作 ・　仮名の美的表現を理解・古筆の臨書 ・線質の研究	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:漢字、かなの表現を生かし、書体、書風、詩文の選択やよさに関心を持ち積極的に自主的に活動に取り組もうとしている。 b:書面に対してのバランスを考えて構想し、自己の意図をあらわせるよう表現に工夫している。 c:漢字とかなの調和や、バランス、字形や用筆に留意し的確に表現している。 d:作品について理解し、よさや美しさを感じ味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 臨書作品
10 11	**漢字仮名交じりの書**	・漢字の書、仮名の書の表現を生かし、用途に応じた語句、詩文を選び、書体、書風の気脈の一貫性に注意して創作 ・既習の漢字仮名の古典の臨書	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:時代や風土、人物による書風の違いに気づき、特徴を捉えて書くように表現に工夫している。 c:字形や用筆の特徴を理解し的確に表現している。 d:作者の人格と書風の関係について理解し作品のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

6	**実用書** **卒業記念作品の制作**	日常生活に役立つ金封の表書き、葉書き、手紙など 細字の書き方 ・構成方法の理解 これまでの古典による学習を生かしつつ、自らの感性を作品に反映。好きな言葉を、色紙に書く ・自作の言葉や俳句等短い語句を書く	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a: 楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現活動に取り組もうとしている。 b:今まで学んだ表現を踏まえて発展的な表現となるよう構想を練っている。 c:習得した表現方法を応用し、主体的に取り組み、個性的な表現をしている。 d:他者の作品のよさや美しさを感じ取り、味わって鑑賞している。	観察 提出作品 鑑賞ﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。